

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-4
高等教育の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

総務部総務課長

電話番号

0852-22-5011

事務事業の名称	島根県立大学学部等設置事業	
目的	(1) 対象	公立大学法人島根県立大学
	(2) 意図	18歳人口の減少などに伴う、県内高校生の4年制大学への進学志向、栄養・保育など資格職に求められるニーズの高度化などに対応するため、松江キャンパスを4年制大学化するとともに、高校生等の短大進学ニーズを踏まえ、短大の一部を存置する。
事業概要	松江キャンパスの短期大学部3学科（健康栄養学科・保育学科・総合文化学科）全てを4年制化し、健康栄養学科を出雲キャンパスに移転する。なお短期大学部は、定員を見直した上で2学科（保育学科・総合文化学科）を継続する。このことに伴う施設整備、移転、備品等に伴う費用を補助する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	公立大学法人島根県立大学業務実績に対して公立大学法人評価委員会が行う年度評価の評定平均値	目標値	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	%
		取組目標値							
	式・定義	各年度の評定値（1～5）の合計／年度計画項目数	実績値	4.0	3.9				%
			達成率	114.3	111.5	-	-	-	
2	指標名		目標値						%
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	595,637	2,827,875
うち一般財源 (千円)	113,937	494,175

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<p>(1) 他大学と差別化を図り選ばれる大学となるための魅力ある教育内容の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地元の実践者等を講師とする独自科目の開設（しまね文化論） ②地域をフィールドとした実践的教育の強化（しまねフィールド科目）や英語を中心とした語学学習（コミュニケーション力）の強化 <p>(2) 必要な施設整備等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康栄養学科の出雲キャンパス移転に伴う新棟建設 ②松江キャンパス共用スペース拡大のための新棟建設の基本設計及び実施設計 ③松江キャンパス既存棟の老朽化及びバリアフリー対応のための改修実施設計
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年3月に、文部科学省へ「学部設置認可申請書」「教職課程認定申請書」、関東甲信越厚生局に「管理栄養士養成指定施設申請書」を提出した。 ・必要な施設整備が計画的に進められている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月の4年制学部開学時に、県内入学者の確保ができるか。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年制学部新設にあたり、高校生を対象としたアンケート、オープンキャンパスでの調査等により、県内高校生のニーズ調査をしているものの、学部新設初年度ということもあり、学生の動向が不透明。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内高校生に、大学での学び、取得可能な資格等、大学の魅力を十分に伝えることの手段。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> ・県内入学率向上のため、大学で学べるカリキュラムや取得可能資格について、オープンキャンパス、高校訪問、個別説明会を実施するほか、ダイレクトメールや新聞・テレビ広告を通じ、県内高校生、高校進路担当者、保護者へより重点的に広報していく。
--